

有機農業技術のつぼ

【NO. 1】

作物名	水稲
対応技術の項目	除草技術
	物理的防除法
	機械除草

《情報収集先の経営概要等》

新篠津村 早川 仁史 氏 経験年数33年（うち有機年数22年）
経営耕地面積 25.1ha
水稲 12.8ha（うち特栽面積5.4ha）
秋まき小麦 6.0ha
大豆 5.0ha（うち有機面積3.5ha）
メロン 1.3ha（うち有機面積0.6ha）
労働力 2人（経営主夫妻）
有機JAS認定の取得状況（H14年取得）

問題点

除草剤を使用しない雑草防除方法の導入が必要となった

- ヒエ・ホタルイ・ミズアオイの繁茂に対応できない

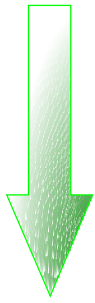
対応

機械除草機を導入した

つぼ

- 走行部：みのるLRM40（三輪）＋除草部：キュウホーを導入
※ 代かき5/18、移植5/26（育苗様式：中苗マット）
- 機械除草は6/14、6/23、6/26、7/07





※ **対応技術活用上の注意点**

中苗であるので、活着し水稻が除草機に耐えられるようになる時期と雑草の生長、作業のタイミングに注意している。
 稲を傷めないように時期を見計らっているとタイミングを逃してしまうことから、思い切りが大切である。

成 果

ヒエに対する除草効果は問題のないレベルである

		雑草発生状況(本/m ²)または葉令=L、欠測=—						除草効果評価
		6/11	6/20	6/27	7/04	7/11	7/18	
特裁 機械除草	ヒエ	2.5L	4.5L	0	0	0	0	○ 株間にミズアオイ が散見される
	ホタルイ	1.0L	4L	0	0	0	0	
	ミズアオイ	0	3L	0	0	0	0	
慣行 除草剤使用 (ハビカフロアブル)	ヒエ	1.1L	0	—	0	0	0	○ (部分的残草で7/7 に機械除草実施)
	ホタルイ	1.1L	0	—	0	0	0	
	ミズアオイ	0	0	—	0	0	0	
		評価: ◎~極めて良好 ○~良好 △~やや劣る ×~効果なし						



機械除草後 (近景)



機械除草後 (遠景)